

競技規則

1. 競技方法及び距離

一般・字対抗レース

- (1) 予選 1組3チームのタイムトライアル 距離 300m
- (2) 準決勝 9チームが進出 1組3チームのトーナメント 距離 300m
- (3) 決勝 3チームが進出 距離 600m※字対抗レースについては300mとする。

女子の部

- 予選：1組3チームのタイムトライアル
- 準決勝：1組3チームのトーナメント（参加状況によっては、行わない。）
- 決勝：3チームが進出
- 距離：300m

2. スタート方法

- 1 スタートはピストルの音で合図する。
- 2 スタートの合図があるまでは後ろの綱をつかむ。
- 3 フライングは2回目までとし3回目は失格とする。
- 4 フライングの合図はピストルを2回鳴らし合図とする。

3. 折り返し

- 1 自チームのコースの折り返し旗を回らないと失格する。
- 2 折り返し旗を完全に海面に倒したら失格とする。
- 3 折り返しは旗を左回りとする。
- 4 旗やブイを故意に利用したターンは失格とする。

4. ゴール

- 1 ゴールはゴールラインに船先が入った時点とする。
- 2 ゴールの合図は一着がゴールインと同時にシグナルです。

5. ゴール判定

- 1 判定は時間計測と目視で行う。
- 2 計測のスタートはシグナルの合図に合わせる。
- 3 同着同一タイムの場合はチーム代表のくじ引きで勝敗を決定する。

6. 競漕方法及び上位進出規定

- 1 選手は1チーム舵取りを含め11名とする。
- 2 男子選手はタイムトライアルとし着順に関係なくタイムの上位9チームが準決勝進出とする。
- 3 女子選手はタイムトライアルとし着順に関係なくタイムの上位9チームが準決勝進出とする。
- 4 男子の部女子の部の決勝は3チームで行う。
- 5 選手は原則として救命用具を着用すること。
- 6 舵取りは原則として大会実行委員会が手配する。但し、チームに舵取りがいる場合はそ

の限りではない。

- 7 競漕中にカイや付属品が海中に落ちてもレースは続行する。尚、競漕中カイ、舵カイが折れて、走行不能となった場合においても、レースは続行し、再レースは行わない。
- 8 選手が転覆などにより船から離れた場合は失格とする。
- 9 他船の進路を著しく妨害したと審判長が認めた場合は、妨害したチームは失格とする。
- 10 船への乗り換えはすみやかに行うこと。なお、案内放送して3分以内に乗船場に集合できない場合は失格もあり得る。
- 11 舵取りは、スタート時等船の安定を図る以外は、漕いではない。

7. 船及びカイに関する規定

- 1 船は大会本部準備の船とする。(木船)
- 2 カイの持込を認める。
- 3 準決勝からのコースは抽選にて決定する。
- 4 立ち漕ぎは禁止。
- 5 土嚢は原則として、各チームで準備する。

8. 表彰

- 1 一般レース 1 位 2 位へ賞金及び商品、3 位に商品を贈る。
- 2 字対抗レース 1 位 2 位 3 位に商品を贈る
- 3 女子レース 1 位 2 位へ賞金及び商品、3 位に商品を贈る。
- 4 上記事項について大会参加状況に応じて変更する事が出来る

9. 注意事項及び異議申し立て

- 1 各チームは選手名簿を必ず大会本部に提出すること
- 2 応援団のドラ、太鼓、笛等はスタート合図後に鳴らすこと。
- 3 各チームの代表は大会中大会本部と常に連絡できる状況にあること。
- 4 異議ある場合は、トラブル発生 5 分以内に登録監督が大会本部に申立てする事とし代理は認めない。
- 5 審判長は大会規則を破ったチームを即失格処分にすることができる。

10. 大会中止基準

- 1 気象条件や様々な原因により大会開催が不可能な場合には、大会役員で協議のうえ、審判長が状況を判断し中止の決定をする。

11. 付則

- 1 規則に定められた以外の事態が生じた場合は、大会役員及び審判団の協議により大会長が決定する。